# 設置事例 レポート

# イオンモール堺北花田プラウS.C. 様

**天井設置型車両センサー EP−Ⅲ （821台）**
**出口混雑状況案内盤 （店内 9箇所）**
**入場制限ゲート （駐車場内 6箇所）**



## 概要

2004年10月に開店したダイヤモンドシティ・プラウは、その後イオンモール堺北花田プラウに名称変更されました。
2010年12月のリニューアルオープンに際し、駐車場運営の不便な点をヒヤリングしたところ、誘導案内だけではなく、立体駐車場の混雑時の入場制限の手間、周辺道路渋滞時に出庫に時間がかかり、クレームが寄せられるという問題点があげられました。



## 駐車場内案内システム

各車室の天井に設置した、超音波式車室センサー(EPⅢ)により、空いている車室へ誘導します。
【左写真】メイン通路上には、各ブランチ毎の「**満**」「**空**」状態と共に、9台以下の場合は、空き台数が数字で表示されます。









## 入場制限ゲート 【下写真】

こちらの立体駐車場は、一部他階への移動ができないため、適切に入場制限をしないと、場内で車両の動きがとれなくなります。
これまで、人手でコーンを並べて制限していたものが、簡易ゲートにより半自動で調整できるようになりました。




## 出口状況案内システム 【下写真】

店内の駐車場への出口付近に、計9箇所設置されています。
混雑時には、各出口からの出庫にどれくらいの時間がかかるか表示され、お急ぎでない方には、お買い物を続けていただくよう促します。
事前に混雑状況を案内することで、お客様からのクレームを減らすことができます。
また、液晶表示機の下端は自由な文章をテロップ表示することができ、管理パソコンから入力できます。





©2011 Exnos